※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２０

令和５年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	体育	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	新高等保健体育　（大修館書店）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・集団行動や各種目の中で、基礎・基本的な運動技能、体力や筋力を高めよう。
・自他の運動を観察し、分析することで興味・関心を高め、運動の楽しさや喜び、達成感を味わおう。
・体育の授業を通して、運動をする・見る・支える・調べるといった関わりを学び、自分にあったスポーツライフを考えてみよう。

２　学習の到達目標

・運動の合理的、計画的な実践をとおして健康・安全に留意し、知識を深めるとともに運動の技能や体力を向上させ、運動の楽しさや喜びを味わう。
・運動を通じて、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を運動場面だけでなく日常生活でも生かせるようにする。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	運動の合理的，計画的な実践を通して，運動の楽しさや喜びを深く味わい，生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため，運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに，それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，自己や仲間の考えたことを他社に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して，公正に取り組む，互いに協力する，自己の責任を果たす，参画する，一人一人の違いを大切にしようするなどの意欲を育てるとともに，健康・安全を確保して，生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	体つくり運動	体つくり運動	a：体つくり運動の特性を理解するとともに、その楽しみ方や安全な学習の進め方を理解することができる。また，各種の運動に関連する体力および健康に関する体力の向上に必要な体つくり運動を身につけながら体力を高めることができる。 b：手軽な運動，律動的な運動など，運動の内容や方法を自分で考え，工夫し，実践することができる。また，自己や仲間の課題を発見し，合理的・計画的な解決に向けた取り組みを工夫し，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。 c：体つくり運動の特性に関心を持ち、からだを動かす楽しさや心地よさを味わえるよう協力してすすんで練習に取り組もうとする、また安全に留意して練習や発表をしようとすることができる。			観察
	武道	柔道	a：素手で相手と組み合う格闘形式の運動の特性を理解し，「礼」についても正しい知識をもつことができる。また寝技のかたちや、試合の取り組みかたなどを学べるようにする。 b：礼儀、受け身などの練習から自己の課題を発見し，合理的・計画的な解決に向けた取り組みを工夫し，自己の考えたことを他者に伝えることができる。 c：柔道に自主的に取り組むとともに，相手を尊重し，伝統的な行動の仕方を大切にしようとすること，自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや，健康・安全を確保することができる。	実技ﾃｽﾄ	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題	学習ｼｰﾄ 観察

※令和４年度以降入学生用

	陸上競技	跳躍	a:走幅跳・三段跳を行い、より遠くに跳ぶために必要な体力を理解し、その体力を高めるための効果的な練習法やトレーニングについて，正しい知識をもつことができる。また，助走から踏切・空中姿勢・着地までの動作をスムーズに行うことで、より遠くへ跳ぶことができるようになる。 b: 遠くに跳ぶための動作について、自己や仲間の課題を発見し，解決に向けた合理的・計画的な取り組みを工夫し，自己の考えたことを他者に伝えることができる。また跳躍競技の記録測定に伴うルールや約束事を理解し、正確な競技会を運営できるようになる。 c: 走幅跳，三段跳における個々の課題に対して、自主的かつ粘り強く取り組むことができる。また競技会運営において，ルール・マナーを大切にし，自己の役割・責任を果たすことができる。さらには安全に留意して取り組むことができる。	実技ﾃｽﾄ 記録測定	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題 授業観察	学習ｼｰﾄ 授業観察
	水泳	平泳ぎ	a: 平泳ぎの技能について，正しいイメージをもつことができる。また，プルとキックのコンビネーション，手の動作と呼吸のタイミングなどの技能を習得し，修得し，正しいフォームで速く・長く泳ぐことができる。 b: 泳法などの自己や仲間の課題を発見し，合理的・計画的な解決に向けた取り組みを工夫し，自己の考えたことを他者に伝えることができる。 c: 水泳に自主的に取り組むとともに，勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとすること，自己の責任を果たそうとすること，一人ひとりの違いに応じた課題や挑戦を大切に使用とすることなどや，健康・安全を確保する。	泳法ﾃｽﾄ ﾀｲﾑ計測	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題	安全への配慮 観察
	球技	バレーボール	a: ネット型のゲームの特性やバレーボールのルールを理解し，安全に練習やゲームを行うための，正しい知識をもつことができる。また，レシーブ・トス・スパイク・ブロックなどの基本を着実に身につけ，多彩な連携プレーを組み立てられるようにする。 b: 攻防などの自己や仲間の課題を発見し，合理的・計画的な解決に向けた取り組みを工夫し，自己の考えたことを他者に伝えることができる。 c: バレーボールに自主的に取り組むとともに，フェアなプレーを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレーなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教えあおうとすることなどや，健康・安全を確保する。	実技ﾃｽﾄ	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題	学習ｼｰﾄ 観察

※令和４年度以降入学生用

		テニス	a：ネット型のゲームの特性やテニスのルールを理解し，安全に練習やゲームを行うための，正しい知識をもつことができる。また，グランドストローク・ボレー・スマッシュ・ロビング・サービス，レシーブなどの個人的技能を身につけ，多彩なプレーを組み立てられるようにする。 b：攻防などの自己や仲間の課題を発見し，合理的・計画的な解決に向けた取り組みを工夫し，自己の考えたことを他者に伝えることができる。 c：テニスに自主的に取り組むとともに，フェアなプレーを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレーなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教えあおうとすることなどや，健康・安全を確保する。	実技ﾃｽﾄ	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題	学習ｼｰﾄ 観察
後期	球技	サッカー	a：足を使ったパス・ドリブル・シュート，ヘディング・ゴールキーピングなどの基礎的な技能を身につけ，オフェンス・ディフェンス・ゴールキーパーとの連携など，ゲーム中の具体的な攻防の場面を想定し，互いに協力して，有効な動きを身につけることができる。 b：攻防などの自己や仲間の課題を発見し，合理的・計画的な解決に向けた取り組みを工夫し，自己の考えたことを他者に伝えることができる。 c：サッカーに自主的に取り組むとともに，フェアなプレーを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレーなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教えあおうとすることなどや，健康・安全を確保する。	実技ﾃｽﾄ	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題	学習ｼｰﾄ 観察
	球技	バスケットボール	a：ゴールへのシュートを競い合うゲームの特性と技能の構造を正しく理解できる。また，ゲームのルールを正しく理解し，審判法を身につけることができる。さらに，パス・ドリブル・シュートなど基礎的な技能を身につけ，ゲーム中の，オフェンス・ディフェンスなどの具体的な攻防の場面を想定して，互いに協力して，有効な動きを身につけることができる。 b：攻防などの自己や仲間の課題を発見し，合理的・計画的な解決に向けた取り組みを工夫し，自己の考えたことを他者に伝えることができる。 c：バスケットボールに自主的に取り組むとともに，フェアなプレーを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレーなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教えあおうとすることなどや，健康・安全を確保する。	実技ﾃｽﾄ	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題

※令和４年度以降入学生用

	陸上競技	長距離走	a：自分にあったペースを維持して一定の距離を走り通し，タイムを短縮したり競走したりすることができる。 b：速く走るための動きなどの自己や仲間の課題を発見し，合理的・計画的な解決に向けた取り組みを工夫し，自己の考えたことを他者に伝えることができる。 c：長距離走に自主的に取り組むとともに，勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとすること，自己の責任を果たそうとすること，一人ひとりの違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや，健康・安全を確保する。	タイム測定	タイム測定	学習シート 観察

※令和４年度以降入学生用

	体育理論	運動・スポーツの学び方	a： 様々な運動種目について，それぞれがどのような運動技術を必要とするのかについて正しい知識をもつことができる。 ・運動技能の上達過程と練習曲線について，正しい知識をもつことができる。 ・体力の構成要素について知り，体力と運動技能のかかわりについて，積極的に学習する。 ・体力の意義とは何か，自らの体力を知るためにはどのような方法があるか，また，体力を高める方法について，積極的に学習する。 ・自らの体力レベルを知る方法について，正しい知識をもつことができる。また，体力の高め方について，正しい知識をもつことができる。 ・安全なトレーニングのための具体的な方策について，正しい知識をもつことができる。 b: 運動技術の種類について，自らが行ったことのある種目に当てはめて考えることができる。 ・運動技能の上達過程について，自らの経験に当てはめて考えることができる。 ・ 体力の構成要素や，運動技能と体力のかかわりについて，自分が行ったことのある運動に当てはめて考える。 ・ 自らの体力を分析し，日常生活のなかで，適切な運動を選択する。 ・スポーツ外傷・障害を起こさないために必要な配慮を，自らの行動に適切に反映することができる。 c: それぞれのスポーツ種目が，どのような運動技術を必要としているのか，積極的に学習できる。 ・運動技能はどのような上達過程をたどるのかについて，積極的に学習できる。 ・体力の構成要素について，正しい知識をもつ。体力と運動技能のかかわりについて，正しい知識をもつ。 ・自らの体力レベルを知る方法について，正しい知識をもつ。体力の高め方について，正しい知識をもつ。 ・体力の意義とは何か，自らの体力を知るためにはどのような方法があるか，また，体力を高める方法について，積極的に学習できる。 ・スポーツ外傷・障害を起こさないためには，どのような配慮が必要であるのかを積極的に学習できる。	筆記ﾃｽﾄ	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題	学習ｼｰﾄ 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度